

日ト発第115138号

平成20年10月 6日

会員各位

社団法人日本トンネル技術協会  
事業委員長 桑原 彌介



東濃地科学センター施設見学会開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支  
援賜り誠に有り難うございます。

さてこのたび、(独)日本原子力研究開発機構(以下、「原子力機構」)はじめ関係各位  
のご協力により下記のとおり現場研修会を開催することといたしました。

原子力機構は、高レベル放射性廃棄物を地層に安全に処分するための研究や技術の開発  
を行っています。その研究のうち東濃地科学センター瑞浪超深地層研究所では、地下の環  
境や地下深くでどのような現象が起こっているのかを研究する「地層科学研究」を行って  
います。今回見学する瑞浪超深地層研究所は、主に花崗岩を対象として、岩盤の強さ、地  
下水の流れ、水質などを調べたり、実際に地下に研究坑道(立坑及び水平坑道)を建設して  
研究を行っており、日本の最先端科学技術プロジェクトに接するまたとない機会であると  
存じますのでご参加下さいますようご案内申し上げます。

なお、本研修会は(社)土木学会の継続教育であるCPDプログラムに認定されていると  
ともに土木学会トンネル工学委員会後援事業でもあります。 敬 具

記

1. と き：平成20年11月13日(木)

2. 工事概況

発注者	(独)日本原子力研究開発機構
工事名	瑞浪超深地層研究所研究坑道掘削工事(A工区、B工区)
施工者	A工区=大林・大成・間JV B工区=清水・鹿島・前田JV
概 要	φ6500mmの立坑と深度100mごとの連絡坑道、花崗岩を研究対象とした立坑掘削、岩盤や地下水を調査する技術及び解析する手法の確立や深い地下で用いられる工学技術の基盤の整備を目的とした調査研究を実施中。

3. 定 員：30名

4. 参加費：会員2,000円、一般4,000円

5. 行 程：

- 13:00 JR中央本線「瑞浪」駅改札前集合、バスにて移動
- 13:30 研究所にて概況説明
- 14:00 現場見学、ヘルメット貸与
- 15:00 質疑応答                      16:00 瑞浪駅前解散

6. 申込方法：参加者氏名、年齢、所属、電話番号、を下記申込書記載のうえ当協会宛  
FAX (03-3553-6145) をもってお申込下さい。受付番号をお知らせします。
7. 支払方法：上記申込ののち、郵便振替用紙通信欄に行事名と参加者氏名、受付番号を  
記入のうえ下記へお振込願います。現金書留でも結構です。  
郵便振替口座 00160-7-196331 日本トンネル技術協会
8. その他：①ヘルメットは現場にて貸与して頂きますが、汚れてもよい服装・靴でご参加願  
います。  
②参加費の払戻しはいたしかねますが、代理参加は差し支えありません。

東濃地科学センター施設見学会申込書

2008年 月 日

下記申込みに係る個人情報につきましては、他に利用するものではありません。

参加者氏名：	年齢：	性別：
TEL：           —           —		
会社名：		
所属役職：		